

# 生徒の思考を広げる「話すこと・聞くこと」の授業改善

～ポスターセッションの授業を通して～

中学国語班  
佐藤 浩（中学校教諭）

## 自己課題設定の理由

〈今までの自分の授業〉  
「話す・聞く」の授業では、相手に伝わるような話し方を中心にしたもので、「友達の考えから学ぼう。自分の考えと比較して聞き意見を言おう。」という深い部分まで意識をもたせられなかった。  
そこで・・・「ポスターセッションの授業で、生徒の思考を広げていこう。」と考えた。

## 題材：人に優しい町づくり

### ワークシートによる支援

#### ○調査方法の話合い

場所、対象、方法、質問項目、アンケート内容を考えて書き込めるワークシートの提示

生徒の思考



障害者の立場になって調べるためには、どうしたら良いんだろう？

実際にその人たちに  
なりきる必要があるよね！  
目隠しをして歩いてみようよ！



調査方法をグループで話し合う際に、ワークシートを活用できるようにしたこと、生徒たちは、よりよい調査方法を考え出すことができるようになってきた。

#### ○情報整理の話合い

調査からわかったこと、工夫されている点、改善していくべき点を分けて記入できるワークシートの提示

生徒の思考

自分たちの、改善すべき点が考えられていないよ！みんなでもう少し話し合っていこうよ！



改善すべき点は、実際にその立場の人から意見をもらって発表した方が説得力があるよ！もう一度インタビューしてみようよ！



情報整理の段階で、ワークシートを活用できるようにしたこと、自分たちの調査不足の点に気付けるようになったり、発表の際の工夫に目が向くようになったりしてきた。

### ポスターの事前掲示と準備時間の設定

#### ○ポスターセッションの事前に

発表用ポスター掲示

「次の観点で見よう！」

納得できる点 疑問に思う点  
詳しく知りたい点 自分の考えと違う点

生徒の思考



本当に外国語の看板があるか確かめに行こう。



〇〇くんの意見には、納得がいかない！質問してみよう。

ポスターの掲示を事前に見ることを通して、生徒たちは、自分で調べたり、自分なりの考えをもったりしてポスターセッションに臨むことができた。

#### ○ポスターセッションでの意見交換

質疑応答の前2分間！！  
準備の時間設定



生徒の思考

交差点の青信号の時間はお年寄りには短いと思うけど、〇〇さんはどう思う？



質疑応答の前に視聴者生徒同士による話合いをしたことで、生徒は自信をもって質疑応答ができ、意見交換が活発になった。

### 交流の場を設定

#### ○発表の準備で・・・

情報交換会実施  
アドバイスカード交換

よく分かった点は～  
疑問点は～

生徒の思考



「アイスクリームの棚は高くても親が見るのだから、いいんじゃない？」という意見があったけどやっぱり子どもが見やすい方がいいよね。

ポスターセッション前に情報交換会を行いアドバイスを交流したことで、生徒は多様な考えがもてるようになってきた。

#### ○ポスターセッションの交流

フロア間でセッションの交流

J班は、視覚障害者の立場に立った発表でした。

点字や音響装置付き信号は人通りの多いところに多いということでした・・・



生徒の思考



僕たちも、視覚障害者の立場で考えたけど、点字がどこに多いかまでは調べなかったな～。今度確かめよう！

他のフロアのポスターセッションを聞く活動をしたことで、生徒は新しい考えに触れることができ、「もっと学びたい」という意欲も高まった。

### 成果

生徒は、余裕をもって考えられ積極的に学び合えた。

屋台村形式とは違い、数多くのポスターセッションを間接的ではあるが、体験でき生徒の思考は広げられた。

### 課題

生徒の情報が偏らないように、情報整理やまとめの段階で手だてが必要。

今回のような授業を繰り返し行えるよう、教材の精選や指導計画の見直しが必要。